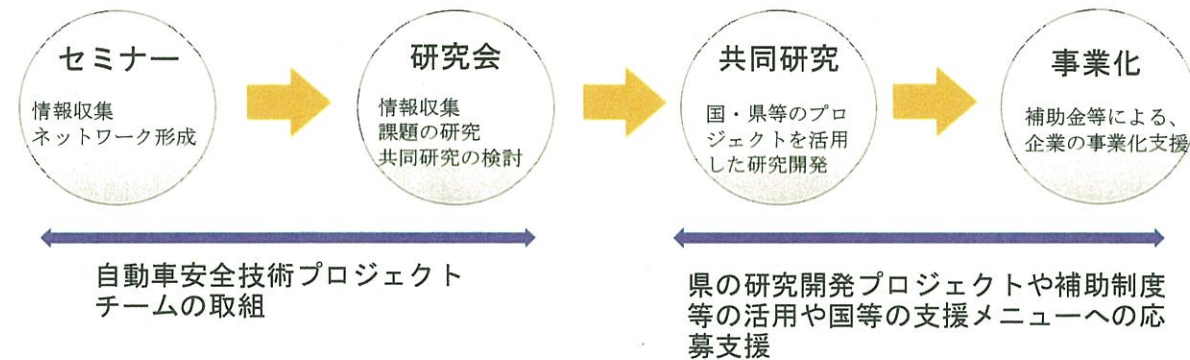


自動車安全技術開発支援事業について

1. 目的

産学行政連携により、セミナー及び研究会を実施し、中堅・中小企業による自動車安全に寄与する製品開発の取組を促し、オールあいちでの自動車安全技術の研究開発を推進。



2. 令和元年度取組内容

(1) 研究者情報のリスト化及び公表

県内大学で自動車安全技術や交通事故防止に関する研究を行っている研究者のリストを作成し、県のWebサイトで公開。(令和元年7月末：15大学97名)

(2) セミナーの開催

自動車安全技術関連の県内大学の技術シーズや、製品化に成功している企業の事例等を紹介するセミナーを開催。

第12回 R01.10.11	愛知淑徳大学 人間情報学部 准教授 高原 美和氏 「高齢ドライバーの運転行動とリスク知覚の特性」 株式会社デンソー自動車ソリューション部技術室用品設計課 担当係長 水井 健介氏、辻田 翔氏 「後付け可能な踏み間違い加速抑制システムについて」 【出席者】23名(企業12名(内中小企業10名)、大学・研究機関等4名)
第13回 R02.01.30	株式会社サン自動車工業 CS本部 本部長 鈴木 洋平氏、S-DRIVE戦略G グループ長 瀬戸 光輝氏 「後付け急発進等抑制装置の先駆けメーカーとして」 名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授 青木 宏文氏 「名古屋大学 人間・加齢特性研究室の取組について」 【出席者】29名(企業15名(内中小企業7名)、大学・研究機関等8名)

(3) 研究会の開催

本年度からスタートした「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期」の研究テーマから、「センシング」等の自動車安全技術に関わる分野で採択された研究テーマを中心に研究会を設置し、プロジェクトの確実な推進と研究会の目的の相乗効果を狙うこととした。

○研究会の概要

研究会	次世代ドライブシミュレータ研究会
座長	愛知工業大学 情報科学部 教授 塚田 敏彦氏
構成	3大学・研究機関、6企業、1団体等 33名
概要	ドライブシミュレータは、これまでに自動車や道路の設計・改良、開発期間の短縮や精度向上を目的に、高精度に車両細部の挙動を再現した開発が行われてきた。近年では、交通事故低減の安全目的や自動運転実現に向けた応用への期待も高まっている。 本研究会は、現状のドライブシミュレータ技術を俯瞰した上で、これからの自動車産業から期待され求められるドライブシミュレータのあり方について、産学官の技術者・研究者が集い情報交換・議論を行う場を提供することで、方向付けを行っていく。
開催状況	2回